

注3

大学番号：069

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

香川大学大学院 農学研究科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務課

職名・氏名 課長補佐 ^{ミヤワキ}宮脇 みどり

電話番号 087-891-3004

（夜間） 087-891-3004

F A X 087-891-3021

e-mail ajimth@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

農学研究科

＜応用生物・希少糖科学専攻＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	29
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 香川大学

(2) 大学名

香川大学大学院

(3) 大学の位置

〒761-0795
香川県木田郡三木町大字池戸2393番地
(〒761-8521
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(カヒ ヨシキ) 笥 善行 (平成29年10月)		
理事	(ヤマシタ トシキ) 山下 明昭 (平成29年10月)		
研究科長	(フカイ セイイチ) 深井 誠一 (平成29年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻 修士(農学)	農学関係	2年	60人	120人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成30年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 (-) [-]		0.95倍	(※) ・日本の食の安全特別コース(国費留学生及び私費留学生混合) 入学試験時期/1~2月の1次及び2次審査により3月に合格発表 (※平成30年10月に9名入学予定) 入学時期/10月 《平成30年10月入学の特別コース・特別プログラム入試予定》 ・アジア・アフリカ・環太平洋(AAP)留学生特別コース 入学試験時期/7月上旬の書類審査及び面接により7月に合格発表 入学時期/10月 ・ダブルディグリー・プログラム(チェンマイ大学農学研究科・農産学研究科) 入学試験時期/7月中~下旬、書類審査及び口頭試問により9月に合格発表 入学時期/10月 ただし、学籍上の入学となり、学生の渡日は1年後の10月
志願者数	61 (-) [2]	20(※) (-) [20]		
受験者数	60 (-) [2]	19(※) (-) [19]		
合格者数	59 (-) [2]	9(※) (-) [9]		
B 入学者数	57 (-) [2]	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.95			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	57 [2]	— [—]	
2年次	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	57 [2] (—)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	57人	0人	平成30年度	0人	0人	
合計	57人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{57} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・カリキュラムの調整を行った結果、「希少糖応用生命科学特論」の開講期を「1後」から「1前」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「希少糖食品科学特論」の開講期を「1後」から「1前」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「園芸資源生産学特論Ⅰ」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「浅海生産環境学特論」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「環境生態学特論Ⅱ」の開講期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「分子細胞生物学特論Ⅱ」の開講期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「分子植物ストレス応答学特論Ⅱ」の開講期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「植物細胞分子生物学特論」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
 ・カリキュラムの調整を行った結果、「分子植物病理学特論Ⅰ」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
 ・兼任教員辞任の理由により、「希少糖応用生命科学特論」の兼任教員の配置を「4」から「3」に変更。
 ・担当教員1名が准教授から教授に昇任した理由により、「希少糖食品科学特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、また、「准教授3」から「准教授2」に変更。
 ・担当教員1名の理事就任に伴う未就任(平成29年10月1日理事就任)及び担当教員2名の准教授から教授への昇任(平成30年4月1日)の理由により、次の14科目の専任教員等の配置を「教授3・2」から「教授3・3」に、また、「准教授2・2」から「准教授2・0」に変更。
 「修士インターンシップ」、「国際修士インターンシップ」、「国際研究実践コミュニケーション」、「専攻セミナーⅠ～Ⅲ」、「修士研究Ⅰ～Ⅳ」、「修士論文」、「国際研究A」、「国際研究B」、「実践研究」
 ・担当教員の理事就任に伴う未就任(平成29年10月1日理事就任)のため、「園芸資源生産学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、また、「兼任0」から「兼任1」に変更。
 ・担当教員が准教授から教授に昇任した理由により、「希少糖生産工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 ・担当教員1名が准教授から教授に昇任した理由により、「希少糖生産工学実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1」「准教授2」に変更。
 ・「動物生産科学特論Ⅰ」の講義内容の専門性を吟味した結果、准教授単独で担当した方がより教育効果が高まると判断したため、専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授1」「助教0」に変更。
 ・担当教員が准教授から教授に昇任した理由により、「応用微生物学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	71 科目	0 科目	83 科目	12 科目 [0]	71 科目 [0]	0 科目 [0]	83 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	未開講科目なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	廃止科目なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{83} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地の内、10,148㎡を香川県より借用（毎年更新）		
	校舎敷地	165,625㎡	0㎡	0㎡	165,625㎡			
	運動場用地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡			
	小 計	246,606㎡	0㎡	0㎡	246,606㎡			
	そ の 他	704,405㎡	0㎡	0㎡	704,405㎡			
	合 計	951,011㎡	0㎡	0㎡	951,011㎡			
(2) 校 舎		専 用 (170,034㎡)	共 用 (0㎡)	共用する他の学校等の専用 (0㎡)	計 (170,034㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 11室	演 習 室 8室	実験実習室 19室	情報処理学習施設 0室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻（修士課程）			室 数 61 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻（修士課程）	868,430 [268,272] (868,430 [268,272])	25,545 [7,342] (25,545 [7,342])	5,566 [4,180] (5,566 [4,180])	9,120 (9120)	0 (0)	1,033 (1,033)	
	計	868,430 [268,272] (868,430 [268,272])	25,545 [7,342] (25,545 [7,342])	5,566 [4,180] (5,566 [4,180])	9,120 (9120)	0 (0)	1,033 (1,033)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	11,506㎡		966席		1,104,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	5,577㎡		運 動 場 5 面		テニスコート 14面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
		共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	香川大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学部	年	人	年次人	人		倍			
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.01	平成15年度	香川県高松市幸町1番1号	
人間発達環境課程	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
法学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は夜間主コース
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	学士 (法学)	1.07	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0.55	平成15年度	同上	
経済学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
経済学科(昼)	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	学士 (経済学)	1.05	平成30年度	香川県高松市幸町2番1号	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
(夜)		10	-	40		0.50	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
医学部									
医学科	6	109	2年次5	623	学士 (医学)	1.00	平成15年度	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成21・22・24・25・30年度入学定員増による学年進行
看護学科	4	60	3年次10	260	学士 (看護学)	1.03	平成15年度	同上	
臨床心理学科	4	20	-	80	学士 (臨床心理学)	1.00	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
創造工学部									
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	学士 (工学)	1.05	平成30年度	香川県高松市林町2217番地20	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
工学部									
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成15年度	香川県高松市林町2217番地20	平成30年より学生募集停止
信頼性情報システム工学科	4	60	-	-		-	平成15年度	同上	平成24年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
材料創造工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
農学部 応用生物科学科	4	150	-	600	学士 (農学)	1.04	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	
教育学研究科 修士課程									
学校教育専攻	2	12	-	24	修士 (教育学)	0.70	平成15年度	香川県高松市幸町1 番1号	
教科教育専攻	2	18	-	36		0.49	平成15年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14		0.71	平成15年度	同上	
専門職学位課程 高度教職実践専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.99	平成28年度	同上	
法学研究科 修士課程									
法律学専攻	2	0.95%	-	16	修士 (法学)	0.68	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
経済学研究科 修士課程									
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.80	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
医学系研究科 修士課程									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.55	平成15年度	香川県木田郡三木町 大字池戸1750番地1	
博士課程 機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.04	平成28年度	同上	平成27年度事前伺い 平成28年4月設置
工学研究科 博士前期課程									
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.74	平成15年度	香川県高松市林町 2217番地20	
信頼性情報システム工学 専攻	2	24	-	48		1.45	平成15年度	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.55	平成15年度	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		2.02	平成15年度	同上	
博士後期課程									
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.33	平成16年度	同上	
信頼性情報システム工学 専攻	3	7	-	21		0.09	平成16年度	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.73	平成16年度	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.46	平成16年度	同上	

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
農学研究科									
修士課程									
生物資源生産学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	平成30年より学生 募集停止
生物資源利用学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
希少糖科学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
応用生物・希少糖科学専攻	2	60	-	120	修士 (農学)	0.95	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い 平成30年4月設置
地域マネジメント研究科									
専門職学位課程									
地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	平成16年度	香川県高松市幸町2 番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず, 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	片山健奎 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII バイオマス化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		片岡郁雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源生産学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		麻田恭彦 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		合谷祥一 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖食品科学特論 食品物理学・食品工学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	片山健奎 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII バイオマス化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		片岡郁雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源生産学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		麻田恭彦 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		合谷祥一 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖食品科学特論 食品物理学・食品工学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	川浪康弘 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖植物科学特論 ケミカルバイオロジー特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		吉井英文 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖物性化学特論 食品物理学・食品工学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	藤田政之 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物ストレス応答学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		深井誠一 <平成30年4月> 科学研究リテラシー 応用生物科学クロストークセミナー 応用生物科学先進科学セミナー 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源利用学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	田村啓敏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 食品分子機能化学特論Ⅰ 食品分子機能化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		田村啓敏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 食品分子機能化学特論Ⅰ 食品分子機能化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	川浪康弘 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖植物科学特論 ケミカルバイオロジー特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		吉井英文 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖物性化学特論 食品物理学・食品工学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	藤田政之 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物ストレス応答学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		深井誠一 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源利用学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	田村啓敏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 食品分子機能化学特論Ⅰ 食品分子機能化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		田村啓敏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 食品分子機能化学特論Ⅰ 食品分子機能化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	加藤尚 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 植物機能生化学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	京正晴 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 植物細胞分子生物学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	望岡亮介 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 資源植物利用学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	柳智博 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源利用学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	多田邦尚 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 海洋科学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	加藤尚 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 植物機能生化学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	京正晴 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 植物細胞分子生物学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	望岡亮介 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 資源植物利用学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	柳智博 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源利用学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	多田邦尚 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 海洋科学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	深田和宏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖物性化学特論 生物物理化学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		櫻庭春彦 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	川村理 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 食品衛生学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		秋光和也 <平成30年4月> 希少糖イノベーション 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖ビジネス特論 希少糖植物科学特論 分子植物病理学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	松尾達博 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖食品科学特論 食品栄養生理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		松尾達博 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖食品科学特論 食品栄養生理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	深田和宏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖物性化学特論 生物物理化学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		櫻庭春彦 <平成30年4月> 応用生物科学クロストークセミナー 応用生物科学先端科学セミナー 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	川村理 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 食品衛生学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		秋光和也 <平成30年4月> 希少糖イノベーション 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖ビジネス特論 希少糖植物科学特論 分子植物病理学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	松尾達博 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖食品科学特論 食品栄養生理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		松尾達博 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖食品科学特論 食品栄養生理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	豊田正範 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 作物生産学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		木村義雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 微生物生理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		伊藤文紀 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 土壌環境学Ⅰ 土壌環境学Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		東江栄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 資源植物利用学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		奥田延幸 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源生産学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	豊田正範 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 作物生産学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		木村義雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 微生物生理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		伊藤文紀 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 土壌環境学Ⅰ 土壌環境学Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		東江栄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 資源植物利用学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		奥田延幸 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源生産学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高村武二郎 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源開発学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		小川雅廣 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖食品科学特論 食品タンパク質機能学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	山田佳裕 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 生物地球化学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		佐藤正資 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖応用生命科学特論 天然物化学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	一見和彦 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 浅海生産環境学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高村武二郎 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源開発学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		小川雅廣 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖食品科学特論 食品タンパク質機能学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	山田佳裕 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 生物地球化学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		佐藤正資 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖応用生命科学特論 天然物化学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	一見和彦 <平成30年4月> 科学研究リテラシー 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 浅海生産環境学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	野村美加 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物栄養学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		田淵光昭 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子細胞生物学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	別府賢治 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸植物生理学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	高田悟郎 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学特論Ⅰ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	渡邊彰 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 応用微生物学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	野村美加 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物栄養学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		田淵光昭 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子細胞生物学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	別府賢治 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸植物生理学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	高田悟郎 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学特論Ⅰ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	渡邊彰 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 応用微生物学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	亀山宏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 農業経営経済学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		松村伸二 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 生産環境物理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	諸隈正裕 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 作物生産学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		安井行雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 環境生態学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	古本敏夫 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 天然物化学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		古本敏夫 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 天然物化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	亀山宏 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 農業経営経済学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		松村伸二 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 生産環境物理学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	諸隈正裕 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 作物生産学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		安井行雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 環境生態学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	古本敏夫 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 天然物化学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		古本敏夫 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 天然物化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	高田悟郎 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学特論Ⅰ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		小林剛 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 環境生態学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	渡邊彰 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 応用微生物学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		武藤幸雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 農業経営経済学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	市村和也 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物ストレス応答学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小林剛 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 環境生態学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		武藤幸雄 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 農業経営経済学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	市村和也 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物ストレス応答学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	杉田左江子 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物育種学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		松本由樹 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 動物生産学特論Ⅰ 動物生産学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	森本兼司 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学特論Ⅱ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		田中直孝 <平成30年4月> 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 応用微生物学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	鈴木利貞 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ バイオマス化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		鈴木利貞 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ バイオマス化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	杉田左江子 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物育種学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		松本由樹 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 動物生産学特論Ⅰ 動物生産学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	森本兼司 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学特論Ⅱ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		田中直孝 <平成30年4月> 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 応用微生物学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	鈴木利貞 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ バイオマス化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		鈴木利貞 <平成30年4月> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ バイオマス化学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小杉祐介 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸植物生理学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	末吉紀行 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子細胞生物学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	五味剣二 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物病理学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	山口一岩 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 海洋科学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	鳴海貴子 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源開発学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小杉祐介 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸植物生理学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	末吉紀行 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子細胞生物学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	五味剣二 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物病理学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	山口一岩 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 海洋科学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	鳴海貴子 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源開発学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	柳田亮 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 ケミカルバイオロジー特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	吉原明秀 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	池田滋 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物育種学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	米倉リナ <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 食品分子機能化学特論I 食品分子機能化学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	望月進 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	柳田亮 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 ケミカルバイオロジー特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	吉原明秀 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	池田滋 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物育種学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	米倉リナ <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 食品分子機能化学特論I 食品分子機能化学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	望月進 <平成30年4月>
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	特命 教授	何森健 ＜平成30年4月＞
		希少糖イノベーション グライコバイオロジー特論
兼任	特命 教授	早川茂 ＜平成30年4月＞
		希少糖食品科学特論
兼任	教授	神鳥成弘 ＜平成30年4月＞
		グライコバイオロジー特論
兼任	教授	村尾孝児 ＜平成30年4月＞
		希少糖応用生命科学特論
兼任	教授	石井知彦 ＜平成30年4月＞
		希少糖物性化学特論
兼任	准教 授	LUTES PETER GERALD ＜平成30年4月＞
		ベーシック国際研究コミュニケーショ ン アドバンスド国際研究コミュニケー ション
兼任	准教 授	中北慎一 ＜平成30年4月＞
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教 授	吉田裕美 ＜平成30年4月＞
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教 授	松岡久美 ＜平成30年4月＞
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教 授	向渝 ＜平成30年4月＞
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教 授	大杉奉代 ＜平成30年4月＞
		希少糖ビジネス特論
兼任	客員 教授	仲山賢一 ＜平成30年4月＞
		希少糖応用生命科学特論
兼任	客員 教授	中島芳浩 ＜平成30年4月＞
		希少糖応用生命科学特論
兼任	客員 准教 授	安部博子 ＜平成30年4月＞
		希少糖応用生命科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	特命 教授	何森健 ＜平成30年4月＞
		希少糖イノベーション グライコバイオロジー特論
兼任	特命 教授	早川茂 ＜平成30年4月＞
		希少糖食品科学特論
兼任	教授	神鳥成弘 ＜平成30年4月＞
		グライコバイオロジー特論
兼任	教授	村尾孝児 ＜平成30年4月＞
		希少糖応用生命科学特論
兼任	教授	石井知彦 ＜平成30年4月＞
		希少糖物性化学特論
兼任	教授	片岡郁雄 ＜平成30年4月＞ 園芸資源生産学特論Ⅰ
兼任	准教 授	LUTES PETER GERALD ＜平成30年4月＞
		ベーシック国際研究コミュニケーショ ン アドバンスド国際研究コミュニケー ション
兼任	准教 授	中北慎一 ＜平成30年4月＞
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教 授	吉田裕美 ＜平成30年4月＞
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教 授	松岡久美 ＜平成30年4月＞
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教 授	向渝 ＜平成30年4月＞
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教 授	大杉奉代 ＜平成30年4月＞
		希少糖ビジネス特論
兼任	客員 教授	中島芳浩 ＜平成30年4月＞
		希少糖応用生命科学特論
兼任	客員 准教 授	安部博子 ＜平成30年4月＞
		希少糖応用生命科学特論

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・片岡都雄教授が平成29年10月1日付けで理事に就任したため未就任。兼任として講義科目「園芸資源生産学特論1」を担当。 ・高田悟郎准教授が平成30年4月1日付けで教授に昇任。 ・渡邊彰准教授が平成30年4月1日付けで教授に昇任。 ・仲山賢一客員教授(兼任)が、主たる所属先の産業技術総合研究所の人事異動(平成30年4月1日付け出向)により辞任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
9 名	6 名	— 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)一② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
32	22	0	8	62	33	20	0	8	61	33	20	0	8	61
(33)	(20)	(0)	(8)	(61)						[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
60	2	0			59	2	0			59	2	0		
(59)	(2)	(0)								[Δ1]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「**現在(報告書提出時)の完成年度時の計画**」には、「**現在(報告書提出時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)を##
教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{61}{62} = \boxed{98.38} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	片岡 郁雄	選択	修士インターンシップ	③	理事就任のため未就任(30)	
			選択	国際修士インターンシップ	③		
			選択	国際研究実践コミュニケーション	③		
			必修	専攻セミナーⅠ	③		
			必修	専攻セミナーⅡ	③		
			必修	専攻セミナーⅢ	③		
			必修	修士研究Ⅰ	③		
			必修	修士研究Ⅱ	③		
			必修	修士研究Ⅲ	③		
			必修	修士研究Ⅳ	③		
			必修	修士論文	③		
			選択	国際研究A	③		
			選択	国際研究B	③		
			選択	実践研究	③		
選択	園芸資源生産学特論Ⅰ	②					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	8 科目
		選択	7 科目	選択	1 科目	選択	6 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	15 科目	計	1 科目	計	14 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	8 科目
		選択	7 科目	選択	1 科目	選択	6 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	15 科目	計	1 科目	計	14 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{62} = 1.61 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

研究指導に関わる科目については、対象となる学生がいないため、支障はないと考える。ただし、講義科目については、兼任として担当する。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<div data-bbox="459 555 1086 696" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 該当なし </div>		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div data-bbox="472 560 1121 703" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 以下の農学部専門委員会を設置
評価委員会・カリキュラム委員会・学生支援委員会・アドミッション委員会・国際交流委員会・研究推進委員会・安全衛生委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 各委員会は、月1回のペースで開催

c 委員会の審議事項等

- ・ 【評価委員会】教員の自己点検・評価に関すること
- ・ 【カリキュラム委員会】教育課程の検討・実施に関すること
- ・ 【学生支援委員会】学生支援に関すること
- ・ 【アドミッション委員会】入学試験の実施・改善に関すること
- ・ 【国際交流委員会】国際交流活動等に関すること
- ・ 【研究推進委員会】外部資金申請ほか研究支援に関すること
- ・ 【安全衛生委員会】安全衛生、リスクアセスメントに関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 各委員会主催のFDを、必要に応じ年1～2回実施予定
教員の教育・研究・管理運営等の資質を維持向上すべくテーマを設定し、FDを実施する

※平成29年度における実施状況（以下を継続的に実施）

【カリキュラム委員会】

- ①日時：平成29年7月20日（木）教授会終了後に開催（60分程度）
内容：講演「畜産学教育で何を教えるべきか？～課題解決型Team Based Learning（TBL）を活用した事例～」
参加者：33名
- ②日時：平成30年2月15日（木）教授会終了後に開催（60分程度）
内容：講演「ルーブリック評価入門（仮題）」
参加者：43名

【学生支援委員会】

- ①日時：平成29年9月28日（木）教授会終了後に開催（60分程度）
内容：講演「障害学生への支援 ～ピア・サポートを中心に～」
参加者：28名

【アドミッション委員会】

- ①日時：平成29年11月16日（木）教授会終了後に開催（90分程度）
内容：講演「農学部入試の推移・現状とA0入試に向けて」
：講演「大学院入試について～入学者確保に向けた方策を考えるために～」
参加者：教員51名、事務職員2名、計53名

【国際交流委員会】

- ①日時：平成30年3月22日（木）教授会終了後に開催（100分程度）
内容：講演「4 & 1 プランの実現に向けて－香川大学の国際交流の現状とインターナショナルオフィスの取組」
内容：講演「4 & 1 プランの実現に向けて－農学部国際交流の現状と課題」
参加者：36名

【農学部授業公開FD】

- ①日時：平成29年11月30日（木） 10：30～（2校時）
担当教員・授業名：小川 雅廣「食品タンパク質化学」
参加者：2名
- ②日時：平成30年1月10日（水） 8：50～（1校時）
担当教員・授業名：多田 邦尚「海洋科学」
参加者：3名

【研究推進委員会】

- ①日時：平成29年8月3日（木）15:00～（約60分）
内容：科学研究費に関するセミナー
参加者38名

【安全衛生委員会】

- ①日時：平成30年1月18日（木）16:00～（約30分）
内容：化学物質管理支援システム導入説明会
参加者：52名

b 実施方法

各委員会が必要と判断し設定したテーマについて、学部内外から講師を招き、講演会・研修会として実施する

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度の要領で実施予定（参考／平成29年度FD実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

該当なし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

隔年で1年生を対象に1～2月実施（カリキュラムアンケート）
毎年9月頃（AAP修了予定者アンケート）

b 教員や学生への公開状況、方法等

未公開

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教員配置、教育課程の編成、施設・設備の整備、香川県、他学部（研究科）、産業技術総合研究所（連携大学院制度採用）との連携等、概ね計画どおりに進捗した。

平成30年度には、入学定員60名に対し57名（うち、外国人留学生2名（国費1名、私費1名）、他大学から3名）の入学者を得た。また、平成30年10月には、留学生9名（国費5名、私費4名）の入学を予定しており、定員60名は満たされる予定である。さらに、他大学からの入学者を3名を得たことは、今回の改組の趣旨及び新専攻の教育・研究内容に興味を示してもらえたものと考えられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・年次進行終了後の平成33年度に自己点検評価（大学全体）を実施・公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページに公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成34年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ (無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年8月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。